

令和3年度 長野幼稚園 「自己評価および園関係者評価」

1. 園の教育目標

よく遊びふれあい学ぶ主体的でたくましい子

「友だちいっぱい 笑顔いっぱい わくわく TRY」

(自然と触れ合う子ども 考えて表現する子ども 多様な人とつながる子ども)

2. 本年度の重点目標

- ・主体的に行動できる子どもの育成 — 感じ、考え、判断し、行動する子
遊びや体験、生活を通して主体性を育む つながりを育む 丈夫な心と体を育む
- ・基本的生活習慣 何でも食べる。早寝早起きする。体を使って遊ぶ。挨拶ができる。整頓ができる。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・保護者の意見要望に1つ1つ丁寧に返答されていて、園の誠意が伝わってきた。
- ・子どもたちが安心して登園できていることが伺える。これは、先生方の丁寧な対応と温かな保育の成果であり、園を選択する1番の理由になっている。
- ・コロナ禍ではあったが、参観日や行事を分散型にするなど内容や方法を工夫して実施できていたのがよい。
- ・ラーニングストーリーやドキュメンテーションなど、子どもの学びを視覚的に表現して保護者に配信されており、今後も継続してほしい。
- ・主体的な学びの実践を職員全体で取り組んでいて素晴らしい。さらに保護者の理解が得られるように、具体の姿を示していただくとよい。
- ・小学校との交流やお茶のみサロンなど、コロナが落ち着いたら地域との交流の再開をぜひお願いしたい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・子どもの主体的な活動についての研修を重ねて職員の資質の向上を図ると共に、子どもの姿を保護者にも見ていただき理解を深めたい。
- ・新型コロナウイルス感染防止への対応から見直してきた行事や日頃の活動を再検討して、より現実的で子どもの成長を第一に考えた活動を実践していきたい。
- ・ホームページの効果に対する意見が多く出されてことを受けて、こまめな更新と内容の充実を図り、園の教育方針の理解と園児募集につなげたい。